

## 本日、山中市長が、 島村 厚生労働大臣政務官へ提案・要望を行いました

本日（11月19日）、山中市長が、次のとおり国の制度及び予算に関する提案・要望を行いましたので、お知らせします。

### 1 日時・提案先・提案内容

日時	提案・要望先	主な提案・要望内容
17時15分 ～17時35分	厚生労働省 島村 大 厚生労働大臣政務官	<ul style="list-style-type: none"> <li>持続可能な新型コロナウイルスワクチン接種体制の構築</li> <li>安心して出産できる社会に向けた出産育児一時金の増額</li> <li>子どもの医療費助成の充実</li> </ul> ※今回の提案・要望内容に関連して、指定都市市長会を代表して、新型コロナウイルスに関する指定都市市長会要請書を、併せてお渡ししました。

### 2 提案・要望の様子 ※写真データを希望される場合は、お問合せ先までご連絡ください。



(島村 厚生労働大臣政務官)

### 3 山中 竹春 市長コメント

このたび、来年度の政府予算編成に向けて、持続可能な新型コロナウイルスワクチン接種体制の構築など、基礎自治体として迅速かつ着実に取り組むべき施策や、子どもを産み育てやすい社会の実現といった横浜の将来の成長につながる施策について、提案・要望しました。

島村 厚生労働大臣政務官には、「新型コロナウイルスワクチン接種体制の構築にあたっては、国のスケジュールを極力示してまいります。また、出産育児一時金の増額については、現在、全国調査を行っており、結果をふまえ、議論していきたい。」などのコメントをいただきました。

横浜市では、一日あたりの新規陽性患者が10名を下回る日が見られるなど、感染状況が落ち着き、経済の回復に向けて本格的に動き始めました。しかし、まだ決して気を緩めることはできません。今後とも、国や県、医療機関の皆様や自治体間での緊密な連携のもと、市民の皆様の命とくらしを守り、地域・圏域の持続的な成長のために、力を尽くしていきます。

※今回の提案・要望書は以下のサイトでご覧になれます。

<https://www.city.yokohama.lg.jp/city-info/seisaku/torikumi/bunken/yobo/2021teian.html>

お問合せ先

政策局大都市制度推進本部室広域行政課担当課長 長久 伸子 Tel 045-671-2109